

川内北中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H27年度末現在）	進捗状況（H28年度末現在）	進捗状況（H29年度末現在）	進捗状況（H30年度末現在）	地区振興計画	H28当初予算	H29当初予算	H30当初予算	H31当初予算	完結分
H25	1	亀山	耕作放棄地等の解消策について	農業委員会	「人・農地プラン」の策定について、支援したい。	・同 左	・同 左	<ul style="list-style-type: none"> 「人・農地プラン」の策定について、支援して参りたい。 全農家の戸別訪問総点検活動による出し手・受け手のマッチングや農地流動化促進補助事業補助金の活用による、遊休化対策を引き続き行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「人・農地プラン」の策定については、地域集落の話し合い活動等の支援を行いたい。 全農家を対象とする「貸したい・借りたい総点検」戸別訪問活動に係る出し手・受け手のマッチングによる集積、集約を進め、農地流動化促進事業補助金を活用した更なる耕作放棄地の未然防止対策を図りたい。 						
H25	1	亀山	耕作放棄地等の解消策について	農政課	「人・農地プラン」の策定について、支援したい。休耕田の害虫に対する助成等については、制度を設けていない。今後、研究したい。	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の解消策として、平成27年度から農地中間管理事業の活用による解消に努めている。この事業を活用するには「人・農地プラン」の策定が必要であり、今後、「人・農地プラン」の策定について支援していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の解消策として、平成27年度から農地中間管理事業を活用し、平成28年度までに市内4地区において、農地の集積、耕作放棄地の解消に努めてきたところである。 この事業を活用するには「人・農地プラン」の策定が必要であり、引き続き「人・農地プラン」の策定について支援していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の解消策として、平成27年度から農地中間管理事業を活用し、平成29年度までに市内5地区において、農地の集積、耕作放棄地の解消に努めてきたところである。 この事業を活用するには「人・農地プラン」の策定が必要であり、引き続き「人・農地プラン」の策定について支援していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地対策については、市の単独事業で「地域農業活性化支援事業※」があり、その事業メニューの一つとして「耕作放棄地の解消に係る経費」への補助を平成30年度から実施している。 また、農地中間管理事業等による地域の担い手への農地集積の推進ほか、鳥獣被害に伴う電気柵等設置への補助など、環境保全に係る支援も進めてきたところである。 一方、高齢化が進行する中で、担い手への集積を加速させる必要があることから、地域での話し合い活動を通じて将来へ向けて地域農業が維持できるよう、「人・農地プラン」の策定についても関係機関と連携しながら支援して参ります。 <p><※地域農業活性化支援事業の概要> 事業に係る補助率は総事業費の3/4以内、上限額は30万円で耕作放棄地解消以外に「集落営農の設立・育成に係る経費」、「景観作物の栽培に係る経費」、「農業基盤の維持補修に係る経費」が補助メニューである。その他、詳細な補助要件はありますが、地域の課題解決のための支援策として活用をご検討ください。</p>					○	○
H25	1	亀山	耕作放棄地等の解消策について	環境課	空き家等の消毒等に対する助成等については、制度を設けていない。今後、研究したい。	<ul style="list-style-type: none"> 現在、環境課では快適環境づくり補助金を使って花いっぱいのもちづくりを進めている。耕作放棄地の土地管理者の承諾をもらい、補助金を活用し、地域で花いっぱいに取り組んでいただきたい。 	・同左	・同左	・同左		○	○	○	○	○
H25	2	亀山	宮内藤市営住宅の跡地の利用について	建築住宅課	跡地を市道が2分しているため、グラウンドゴルフ場への整備は厳しい。公募による売却等も検討している。当分、イベント・行事等の際には、地元の駐車場として利用していただくようにしている。	・売却も可能として、普通財産へ変更した。									○
H25	3	可愛	川内川市街部右岸改修工事に伴う要望について	都市計画課	大小路地区の薩摩川内市街部改修事業については、本市が行っている都市計画道路中郷五代線整備事業と一体的に整備を進めている。今後河川事務所と連携しながら、積極的に事業推進を進めたい。河川事務所からは早ければ平成26年度中には工事に着手したいということを知っている。	<ul style="list-style-type: none"> 大小路地区の川内市街部改修事業については、本市の都市計画道路中郷五代線整備事業と一体的に整備を進めており、平成28年3月末で事業用地取得の9割程度が契約済の状況である。また、平成27年度は、道路築造が延長380mの区間で完了している。 今後河川事務所と連携しながら関係機関と連絡調整を行い、積極的に事業推進を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大小路地区の川内市街部改修事業については、本市の都市計画道路中郷五代線整備事業と一体的に整備を進めており、平成29年3月末で事業用地取得が概ね完了の状況である。 また、平成28年度は道路築造が延長410mの区間で完了している。 今後、河川事務所と連携しながら関係機関と連絡調整を行い、積極的に事業推進を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業については、都市計画道路中郷五代線は延長1.1kmの内470mの道路が完成し、その部分については共用開始している。現在、昨年に引き続き、下内田樋門の改修を含め進捗している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の都市計画道路中郷五代線は延長1.1kmの内730mの道路が完成し、うち630mについて供用している。現在、国道3号との接道部分の改修を推進している。 		○	○	○		
H25	3	可愛	川内川市街部右岸改修工事に伴う要望について（川内川護岸公園等の設置）	建設政策課	向田地区の堤防を改修していただく際、川まちづくり推進協議会というものを組織した。これは事業主体である河川事務所（国）、市、地元の皆様と一緒に、様々な意見を交えながら、国・市に要望したり、できるところは自分で実施したりすることにより進める。従って、地元の意見が入り易いと考え。向田地区のこの組織を参考に、良い部分はそのまま継承するは良いし、不具合な部分は改善しながら新たな組織をつくりたい。できれば、早い時期に組織立ち上げの作業に入りたいと考える。	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度は、可愛地区の自治会長を中心とした「せんで川夢見る会」を3回実施し、河川空間の整備計画に反映するメニューを決定した。 今後は利活用団体等をメンバーとした検討会を開催し、将来的な維持管理も含めた具体的な整備計画を、国と協議しながら策定する予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は、可愛地区の方々を中心とした「せんで川夢見る会」を2回実施した。また、利活用団体等をメンバーとした作業部会を立ち上げた。 今後は、具体的な利活用及び維持管理計画を国と協議しながら策定する予定である。 						○	○	
H25	3	可愛	川内川市街部右岸改修工事に伴う要望について	建設維持課	平成18年の水害を受け、本市は内水対策中長期ビジョンを作成している。ビジョンと河川計画を併せながら、一番良い方法での浸水対策を考えたい。ただし、当分の間は、これまでどおり、導水路に溜まった土砂を除去したり、側溝の改修、雨がひどい場合は、新たに臨時ポンプを持ってくるなど対処したい。水門管理人さんや排水機場管理人さんと対応をさせていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、内水対策中長期ビジョンに基づく排水対策を、順次行っていく予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の堤防改修工事の進捗に併せて、引き続き、内水対策中長期ビジョンに基づく排水対策を順次行っていく予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の堤防改修工事の進捗に併せて、引き続き、内水対策中長期ビジョンに基づく排水対策を順次行っていく予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の堤防改修工事の進捗に併せて、引き続き、内水対策中長期ビジョンに基づく排水対策を順次行っていく予定である。（大小路地区・東大小路地区） 		○	○	○	○	

川内北中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H27年度末現在）	進捗状況（H28年度末現在）	進捗状況（H29年度末現在）	進捗状況（H30年度末現在）	地区振興計画	H28当初予算	H29当初予算	H30当初予算	H31当初予算	完結分
H25	4	可愛	国道3号御陵下地区無電柱化事業の促進について	都市計画課	本事業については、太平橋から国道267号入口までは既に完了している。267号入口から風口交差点までは、平成26年度までには、完成する予定である。 風口交差点から高槻橋までについても第3期工事として、地元の促進協議会ができており、関係課者等で、国土交通省鹿児島国道事務所や九州電力鹿児島支社等へ要望に出向いている。今後も要望を続けてまいりたい。	・平成27年度に国道267号入口交差点から風口交差点までの780m区間について、歩道拡幅については完了したものの、植栽及び舗装が一部未整備となっている。 ・今後は、未整備区間の早期完成と風口交差点から高槻橋までの970m区間を事業登録要望路線として、地元の促進協議会と共に国土交通省鹿児島国道事務所や九州電力鹿児島支社及びNTTへ、引き続き要望を行いたい。	・平成27年度に、国道267号入り口交差点から風口交差点までの780m区間について、歩道拡幅については完了したものの、植栽及び舗装が一部未整備となっている。 ・今後は、未整備区間の早期完成と風口交差点から高槻橋までの970m区間を事業登録要望路線として、地元の促進協議会と共に国土交通省鹿児島国道事務所や九州電力鹿児島支社及びNTTへ、引き続き要望を行	本事業については、太平橋から国道267号入り口までは既に完了している。267号から風口までは概ね完了したが、歩道部分の舗装について平成30年度に完了する見込みである。 風口交差点から高槻橋までについても第3期工事として、国土交通省鹿児島国道事務所や関係機関に対して要望を継続している。	本事業については太平橋から国道267号入り口までは既に完了。267号から風口までは概ね完了したが、歩道部分の舗装について熊本地震の影響で舗装は後年に先送りとなっている。 風口交差点から高槻橋までについても第3期工事として、国土交通省鹿児島事務所や関係機関に対して要望を継続し、平成31年度からの事業化に向けて検討が進んでいる。	○					
H25	5	育英	中郷地区における内水排除対策について（豪雨により中郷川が氾濫し、道路や敷地の冠水が見られると判断された時点で、排水ポンプ車を山田島排水機場に配置していただきたい。）	建設維持課	現在、川内川の河川事務所が持っている排水ポンプ車が2基あり、1基は栗野等の上流に、もう1基が天辰出張所の三堂に配備されている。 他の県外の事務所にも、排水ポンプ車が配備されている。状況によっては、他の事務所からの配備も可能であると聞いているので、台風等の気象予報を早めに把握し、連携が取れるようにしていきたいと考えている。										○
H25	5	育英	中郷地区における内水排除対策について（消防庁舎の敷地及びその周辺の銀杏木川の狭窄部の拡幅については、現消防庁舎の移転後早急に進捗していただきたい。）	建設政策課	県河川である銀杏木川の拡幅については、現在、コアガス付近を拡げており、おれんじ鉄道附近までは、今年度までに進むと聞いている。										○
H25	5	育英	中郷地区における内水排除対策について（平成21年度及び平成23年度のまちづくり懇話会における答弁では「内水対策実施までの間、中郷池の調整機能を活用することも考えており、地元土地改良区等と協議を行う予定である」となっているが、未解決であるので早急に対策をしていただきたい。）	建設維持課	来年の雨季までには、どの程度まで水位を下げられるか等、耕作の方とも話をながら、対応したいと考えている。	・地元土地改良区と中郷上池・中郷下池の管理につき覚書を締結し、内水対策に必要な中郷上池・中郷下池の適正な管理を行うこととした。									○
H25	5	育英	中郷地区における内水排除対策について	防災安全課	早目の避難をしていただくための対策として、これまでどおり、川内川水位の基準に基づき、避難準備情報、避難勧告、避難指示を行う。中郷川においては、山田島樋門が閉鎖されたときは、その旨を皆様方へお知らせをして、避難準備にあたってもらえるような対策をとりたいと考えている。	・同左	・同左	・同左	・同左						
H27	1	亀山	避難所について	防災安全課	・亀山地区では、10箇所の風水害の指定避難所を指定。亀山地区コミュニティセンターは川内川が氾濫した際に、浸水が想定される場所であること等により、風水害の指定避難所に指定しなかった。水害以外、例えば、台風や地震災害時の避難所ということでは、使用可能であると考えられるので、検討したい。 ・御指摘のとおり、亀山地区には7千人を超える方が居住されている。例えば、水害時には、避難所が不足するのであれば、隣接の地区の避難所へ誘導をしながら、万全を期したい。 ・なお、市では自治会避難所の指定も行っている。今のところ、川内地域で25箇所を指定している。自治会においては、是非、御検討をお願いしたい。	・亀山地区の水害対策として、平成27年9月に市と榑植村組が協定を締結し、榑植村組川内支店を協定避難所と位置付け、災害発生時、又は発生する恐れがある場合において、避難者の受入を行うこととなっている。 ・なお、平成27年度に自治会避難所についての以降調査を行ったが、希望される自治会がなかった。引き続き、検討いただきたい。	・亀山地区の水害対策として、平成27年9月に市と榑植村組が協定を締結し、榑植村組川内支店を協定避難所と位置付け、災害発生時、又は発生する恐れがある場合において、避難者の受入を行うこととなっている。	・同左	・亀山地区コミュニティセンターが浸水想定区域外となったことが確認できたことから、平成30年度に亀山地区コミュニティセンターを指定避難所とする協議を地元とも行い、平成31年5月に開催した防災会議により、指定避難所に指定したところである。						○
H27	2	可愛	可愛地区コミュニティセンターの老朽化について	コミュニティ課（現地域政策課）	可愛地区コミュニティセンターの修繕等の経過状況、薩摩川内市全体の財政状況と公共施設の考え方を説明。 残念ながら、現時点において、センターを新たに建設するという計画は無い。48地区のコミュニティセンターの現況（施設の老朽化等）を逐次確認しながら、毎年、必要な予算を措置し、改修したい。 可愛地区コミュニティセンターは少し高いところにあり、高齢者の方々に不自由をおかけすることを十分に承知している。可愛地区内の他の公共施設も有効に活用しながら、現在のコミュニティセンターを当面、御利用いただくようお願いしたい。	・屋上の防水工事を行なった。 ・28年度に可愛地区コミセンの耐震診断業務を行なう。				○					○

川内北中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H27年度末現在）	進捗状況（H28年度末現在）	進捗状況（H29年度末現在）	進捗状況（H30年度末現在）	地区振興計画	H28当初予算	H29当初予算	H30当初予算	H31当初予算	完結分
H27	3	育英	安全・安心なまちづくり (以前から懸案となっている内水対策の実施である。特に梅雨・台風時期に上池・下池から中郷川や銀杏木川へ流れ込むことで発生する内水対策を長期的に検討・実施してほしい。)	建設維持課	平成18年度の北部豪雨災害の際、中郷川が溢れ、道路まで冠水した。内水対策の整備計画に基づき、昨年度から実施している。英小学校周辺に大きな排水路を設け、若干余裕のある中郷病院にある中郷ポンプ場から汲み出せるようにした。そこに2系統を予定しているが、間もなく、1系統が終了する。もう1系統を接続すると排水が山田島へ行かなくなるので、その分は解消されると思う。中郷池には、上池と下池がある。下池には水位を自由に調整できるゲートがあるが、上池には無かったので、今年、上池にも設置した。もう少しで終了する。中郷川については、昨年・今年も奇州の除去も実施し、水の流れを確保している。今後もこのような整備計画に基づき、予算の範囲で年次的に整備を進めたい。現在も台風前になると、国土交通省河川事務所の御配慮により、移動式の排水ポンプ車を事前に設置していただいている。今まで、中郷地区におかれては大変な思いをされておられるので、今後も整備を進めたい。										○
H27	他		ごみの分別が徹底されない。地区外の方のごみが未回収である場合もある。	環境課	転入の際に、ごみの分別の在り方等も説明している。それも1回限りであるので、徹底することは難しい。周知もきめ、今後、検討させていただきたい。										○
H29	1	亀山	銀杏木川の奇洲除去・耕作放棄地の解消・高城川堤防の草刈について (高齢化が進み、田んぼ等の耕作者も減少したことから、荒地が増え、雑草も繁茂している。このため、さまざまな被害が生じ、地区民が安心・安全に暮らしにくい環境になっている) 1 銀杏木川の奇洲除去 2 耕作放棄地の解消 3 高城川堤防の草刈	建設政策課	(1・3についての回答) 高城川は県河川のため、毎年県へ草払いを要望している。同じく銀杏木川も県に現地の状況を確認いただくなど要望を重ねて行っている。県の予算も厳しく、一気に実施できないが、作業範囲は広がってきている。また、本市からの提案で、県市長会において、河川の伐採や奇洲除去に対する県予算確保の要望を採択いただき、県知事に提出した。今後も河川の景観整備と河道の確保を県に逐一要望していくので御理解いただきたい。									○	
H29	1	亀山	銀杏木川の奇洲除去・耕作放棄地の解消・高城川堤防の草刈について (高齢化が進み、田んぼ等の耕作者も減少したことから、荒地が増え、雑草も繁茂している。このため、さまざまな被害が生じ、地区民が安心・安全に暮らしにくい環境になっている) 1 銀杏木川の奇洲除去 2 耕作放棄地の解消 4 高城川堤防の草刈	農政課	(2についての回答) 耕作放棄地は、これまでその解消に向けた要望も非常に多い。市でも大きな課題と考えている。これまでは、国県の補助事業を活用しながら集落単位の耕作放棄地発生防止や解消策についての検討を進めてきたところである。しかし、市街部周辺については対応しきれない。そのため課題である耕作放棄地の解消や水路、農道の維持補修といった具体的な取組を支援するために、平成30年度から地域農業活性化支援事業を新たに予算化した。住宅地と農業地が混在している地区で活用できると考えている。御相談いただきたい。									○	
															○

川内北中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H27年度末現在)	進捗状況 (H28年度末現在)	進捗状況 (H29年度末現在)	進捗状況 (H30年度末現在)	地区振興計画	H28当初予算	H29当初予算	H30当初予算	H31当初予算	完結分
H29	2	可愛	安全・安心なまちづくりについて (地区内に大型店舗等が出店し、交通量が増加していると懸念される現状において、安心・安全な住みよいまちづくりの実現に向けて地区が必要と考える) 1 可愛小学校周辺道路の安全対策(特に運行車両の減速への取り組み) 2 地区コミュニティセンターへの国道3号からの侵入道路の安全対策 ③一般国道3号御陵下地区・上川内地区無電柱化事業の促進 4 都市計画道路「隈之城高城線」の整備の促進	建設維持課	(1についての回答) 国道3号から川内高校裏の踏切までの舗装、可愛小体育館への約200mのカラー舗装を実施し、児童の安全確保を図る対策を講じた。さらに、川内高校北側は現在拡張工事中である。 今後は、川内高校裏の舗装打ち替えを計画し、併せて地権者の御協力をいただき、用地確保ができれば、待避所の設置も考えている。 可愛小から川内高校裏側の交差点付近には、「学童注意」「スピード落とせ」等の注意喚起の表示を設置したいと考えている。 (2についての回答) 諏訪保育園付近の降り口がカーブで離合が難しいということで、下り一旦停止線はかなり上に設置しているが、抜本的な改修はまだである。 付近に空き家があり拡幅等に御協力いただける可能性がある。今後、地権者と用地の確保に向けて協議を重ねて参りたい。			(1についての回答) 国道3号から川内高校裏の踏切までの舗装、可愛小体育館への約200mのカラー舗装を実施し、児童の安全確保を図る対策を講じた。さらに、川内高校北側は現在拡張工事中である。今後は、川内高校裏から元川一酒販前までの舗装打替えを計画し、併せて待避所の設置も考えていたが、用地の協力が得られなかったため、舗装の打替え工事を実施する計画となっている。 また、可愛小から川内高校裏側の交差点付近には、「学童注意」「スピード落とせ」等の注意喚起の表示を設置したいと考えている。 (2についての回答) 諏訪保育園付近の降り口がカーブで離合が難しいということで、下り一旦停止線はかなり上に設置しているが、抜本的な改修はまだである。当面の間は、中央線や路面標示を設置し安全対策を図りたい。 また、付近に空き家があり拡幅等に御協力がいただけないか地権者と用地交渉を行ったところ前向きな回答をもらっているところである。今後は実施に向けて計画と交渉を重ねて参りたい。	(1についての回答) 川内高校北側は、現在年次的に施工中であり、令和二年度に完了する予定である。川内高校裏から元川一酒販前までの舗装については、平成30年度に完了している。 また、可愛小から川内高校裏側の交差点付近の注意喚起表示については、舗装工事に合わせ完了している。 (2についての回答) 諏訪保育園から国道3号までのカーブ箇所については、地権者のご協力により、建物移転及び用地買収が本年度完了したところである。来年度早々の工事着手を計画しているところである。						
H29	2	可愛	安全・安心なまちづくりについて (地区内に大型店舗等が出店し、交通量が増加していると懸念される現状において、安心・安全な住みよいまちづくりの実現に向けて地区が必要と考える) 1 可愛小学校周辺道路の安全対策(特に運行車両の減速への取り組み) 2 地区コミュニティセンターへの国道3号からの侵入道路の安全対策 3 一般国道3号御陵下地区・上川内地区無電柱化事業の促進 4 都市計画道路「隈之城高城線」の整備の促進	都市計画課	(3についての回答) 国道267号入口から風口交差点までは完了済。一部舗装は平成30年夏までには完了予定。 風口交差点からの約900mは、一般国道上川内地区無電柱化促進協議会が国道事務所に要望されている。この工事は事業者負担があり、九州電力の同意は取れているが、NTTが検討中で同意が取れていない。 鹿児島国道事務所が実施する区間として位置付けているので、今後も国県とともに事業者へ要望して参りたい。 (4についての回答) 現在、中郷五代線と駅前白和線の2路線を整備中。また、天辰第二地区の引堤工事や県道整備が都市計画事業として始まったばかりである。 上記のような事業が動いており、その進捗状況を見ながら進めて参りたい。もう少し早く時間が掛かるものと思われる。御理解いただきたい。			3についての回答 風口交差点からの約900mは、一般国道上川内地区無電柱化促進協議会が国道事務所に要望されている。この工事は事業者負担があり、九州電力の同意は取れているが、NTTが検討中で同意が取れていない。 鹿児島国道事務所が実施する区間として位置付けているので、今後も国県とともに事業者へ要望して参りたい。 4についての回答 現在、中郷五代線を整備中と駅東口アクセス道路の整備に取り掛かっている。又、天辰第二地区の引堤工事や県道整備が都市計画事業として始まったばかりである。 上記のような事業が動いており、その進捗状況を見ながら進めて参りたい。もう少し早く時間が掛かるものと思われる。御理解いただきたい。	3についての回答 風口交差点からの約900mは、一般国道上川内地区無電柱化促進協議会とともに国道事務所や事業者に要望活動を続けた結果、平成31年度の事業化に向けて検討が進められている。 4についての回答 現在、中郷五代線を整備中と駅東口アクセス道路の整備に取り掛かっている。又、天辰第二地区の引堤工事や県道整備が都市計画事業として始まったばかりである。 上記のように事業が動いており、その進捗状況を見ながら進めて参りたい。もう少し早く時間が掛かるものと思われる。御理解いただきたい。						
H29	3	育英	内水排除対策の早急な検討・実施について (梅雨や台風時、また異常気象によるゲリラ豪雨等の増水・洪水に対し、地区内の住民の生命、財産を守り、安心して住むことの出来る地域づくりには、内水の処理対策が喫緊の課題であると考えている。この対策について、早急な検討・実施をお願いしたい。)	建設維持課	現在、下内田樋管の引堤工事に併せて導水路の整備を進めながら川内川河川事務所付近の水を早く引き込むような管路の整備を進めている。 銀杏木川の肥薩おれんじ鉄道の交差点部分から博善社辺りまでの区間は、昨年もゲリラ豪雨の際に浸水した現状がある。その都度、現地に出向き調査している。 平成30年度には銀杏木川にどういった流入があるのかなどの内水解析をし、どれくらいの断面があれば浸水がなくなるのかといった調査を1年かけて実施し、施工方法を検討する。その結果をもって、工事計画を立てていくことになる。御理解いただきたい。			現在、下内田樋管の引堤工事に併せて導水路の整備を進めながら川内川河川事務所付近の水を早く引き込むような管路の整備を進めている。 銀杏木川の肥薩おれんじ鉄道の交差点部分から博善社辺りまでの区間は、昨年もゲリラ豪雨の際に浸水した現状がある。その都度、現地に出向き調査している。 平成30年度には銀杏木川にどういった流入があるのかなどの内水解析調査を1年かけて実施し、施工方法を検討する。その結果をもって、工事計画を立てていくことになる。御理解いただきたい。	現在、下内田樋管の引堤工事に併せて導水路の整備を進めながら川内川河川事務所付近の水を早く引き込むような管路の整備を進めている。 銀杏木川の肥薩おれんじ鉄道の交差点部分から博善社辺りまでの区間は、ゲリラ豪雨の際に浸水した現状がある。その都度、現地に出向き調査している。 平成30年度に銀杏木川の流域調査を実施し、令和元年度に冠水対策の検討業務委託を発注した。 今後、その結果をもって、排水対策等の実施の方向性を検討して参りたいと考えている。						
H29	3	育英	内水排除対策の早急な検討・実施について (国道267号の肥薩おれんじ鉄道のアンダーパスにあるポンプは鹿児島県のものであると伺っている。県とどのように折衝しているのか。冠水することは知られている。地区民が恐れているのはサンアリーナ付近にゲリラ豪雨が降り、国道267号が止まってしまうこと。冠水対策について県と強力な交渉を行っていただきたい。見通しはいかがか)	建設維持課	国道267号のアンダーパスは県が管理している。ポンプは1台設置であると思われる。県へ御意見を伝える。			国道267号のアンダーパスは県が管理している。ポンプは1台設置であると思われる。県へ御意見を伝える。	国道267号のアンダーパスは県が管理している。ポンプは1台設置であると思われる。県へ御意見を伝える。 県についても、令和元年度に同箇所の調査業務委託実施予定。						
H29	他		自治会長に新年度に向けて提出する各種申請書が届いている。色々な様子をホームページからダウンロードできないか。	地域政策課	平成30年度に準備できたら御連絡する。			・順次登録し、平成31年度の自治会運営説明会で周知を行うこととする。	・主に自治会に関連する申請書等については、市HPに掲載を行った。						